

栃木県の観光を再生するには

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今週の月曜日 30 日に栃木県経営者協会の会議に出席してきました。この会は北関東警備保障の青木勲さんが会長をしています。私は昨年秋にできた経営産業政策委員会の委員長をさせて頂いています。その折に、足利銀行の一時国有化問題がありました。栃木県はこれにより県内の企業が大変な状況になったり、ここで働いている人が失業したり、これが一番の問題であると考え、話し合いをし、夏までに福田昭夫県知事に提言することになりました。昨年の 11 月から今年の 8 月までに 12 回、委員会活動をして 8 月 30 日に「栃木県観光の再生と活性、新しい創造に向けて」という提言書を出しました。全部で 56 項目あります。栃木県の観光を再生するには、2 つある力、お金と権力で人を従わせるハードパワーと、魅力によって人を惹きつけるソフトパワーのうち栃木県の魅力、文化、物の考え方、良さなど、ソフトパワーを磨き込むことです。これは栃木県のミッション、課題と使命だと思います。ソフトパワーの源は文化、物の考え方、伝統です。福田知事は二宮尊徳の分度推譲(ぶんどすいじょう)もソフトパワーであるというお考えを持っており、私もその通りだと思いました。このように物事の考え方を磨き込むことにより、人を惹きつけることも大事だと思います。56 提言した中で私が一番お願いしたいことは、素晴らしい観光地は世界にたくさんあります。ギリシャ、先週までオリンピックが開催されていましたので分かったと思いますが、素晴らしい文化を持っていてそれを磨き込むことで観光振興を行っています。スペイン、フランスもそのようです。栃木県も栃木県の文化とは何かを根本から考えて、それに根ざした観光振興をしてほしいです。それにはフランスやスペインなど国際観光の先進国へ栃木県の観光をこれからどうするかについて考えて下さる人に行って頂いて政策を考えることが必要であると思います。また、すでにある観光政策を具体的に展開するために今の 1 億円位の予算を 10 億円位にして頂き、ホームページの充実を図るなど PR がもっとできるようにすることも必要です。

足利銀行の一時国有化により観光地へ国・県・市町村からお金が投入されましたが、お金の使い道に関して、観光についての行政評価のしくみを整える必要もあります。これらを含め 56 項目提言させて頂きました。これを 1 つでも実行してもらえるように、これからも活動していきだいたいと思っています。放送をお聴きの皆さんにもこのようなことに関心を持ってほしいと思っています。私のできることを、栃木県の温泉は素晴らしく、そこに皆さんに行って頂くことで皆さんはリラックスでき、そしてそれが栃木県の観光地の再生に繋がることをこの半年間お話をさせて頂きました。これからも、このことをお願いし続けたいと思います。